

AED操作生徒ら真剣



AEDを使い、救急救命法を学ぶ生徒⑤

吉賀 中学校向け講座開始

自動体外式除細動器（AED）を使った救急救命講座が、吉賀町の全4中学校を対象にスタートした。六日市病院（同町）の医師や看護師、消防士らでつくるNPO法人六日市ECC協会が、7月6日まで計7回、講座を開く。

初日は蔵木中1、3

3年の中嶋華那さん

（14）は「実際に人が倒れている状況に遭遇したら、勇気を出して助けてい」と気を引き締めていた。

同協会は町教委の協力を得て、2013年度から全ての中学校を対象に講座を開始。受講者には国際認定証を渡しており、ことしは1、3年生と教員計約100人に指導する。

（江川裕介）